



厚生労働省福島労働局発表
令和2年10月19日(月)

担 当	【照会先】
	福島労働局職業安定部職業安定課
	課長 秋元 初雄
	課長補佐 矢内 聡
	需給調整指導官 渡辺 隆
	TEL 024(529)5578 FAX 024(536)4200

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価に係る 令和元年度（平成31年度）総合評価の結果について

福島労働局（局長 岩瀬信也）は、ハローワークの求人・求職のマッチング機能の一層の強化を図るため、令和元年度（平成31年度）に実施した総合評価の結果をとりまとめました。

総合評価は、従来のPDCAサイクルによる目標管理を拡充し、マッチング機能の総合評価を行うことで、ハローワークの業務改善につなげ、更なる機能強化を図ることとしております。このため、労働市場の状況や業務量、体制が同じような全国のハローワークで11のグループを作り、その中で比較・評価を行うもので、年度当初にマッチング機能に関する数値目標を設定し、翌年度に業務の評価・改善を行うものであります。（別添1、2参照）

今般、令和元年度（平成31年度）の評価結果が下記のとおりとなりましたので、各ハローワークの就職支援業務報告と併せて公表いたします。

記

総合評価の結果

① 「良好な成果」（評価類型2）

福島所、いわき所、会津若松所、郡山所、須賀川所、相双所

② 「標準的な成果」（評価類型3）

白河所、二本松所

参考

評価類型1：非常に良好な成果

評価類型2：良好な成果

評価類型3：標準的な成果

評価類型4：成果向上のため計画的な取組が必要

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 (ハローワーク総合評価)の概要

ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善(ハローワーク総合評価)の取組を、2015年度から実施。

PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- 従来の取組(就職率等の**主要指標**に基づくPDCAサイクルによる目標管理)を拡充し、
 - ①業務の質に関する**補助指標**
 - ②ハローワークごとに、地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する**所重点指標**
 - ③ハローワークごとに、中長期的なマッチング機能強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進する評価項目である**所重点項目**を**新たに設定**し、目標管理を実施。



短期的な成果の向上だけでなく
中長期的な業務の質向上・業務改善を図り
マッチング機能を強化

ハローワークのマッチング機能の 総合評価・利用者への公表

- 業務の成果について毎月公表
 - 各労働局が所管ハローワークの主要指標の実績を毎月公表
- 年度終了後、業務の成果(主要指標・所重点指標)や質(補助指標)、職員の資質向上・業務改善の取組(所重点項目)の実施状況を踏まえ、ハローワークごとに総合評価を実施。
 - 労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11のグループに分け、同一グループ内で相対評価
- ハローワークごとに総合評価結果及び業務改善の取組等をまとめ、各労働局が公表。

重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表
- 総合評価結果を、労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

評価結果に基づく 全国的な業務改善

- ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、評価結果をもとに、本省・労働局による個別のハローワークへの重点指導や好事例の全国展開を実施
 - ①評価結果に基づき、本省から、労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
 - ②一定の基準に該当するハローワークは改善計画を作成、本省・労働局が重点指導
 - ③好事例は全国展開
 - 労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

ハローワーク総合評価の評価指標の構成

1 全ハローワーク共通の評価指標(主要指標・補助指標)

(1)主要指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち、特に中核業務の成果を測定する評価指標

- 就職者数
- 求人充足数
- 雇用保険受給者の早期再就職件数

(2)補助指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する評価指標

- 求人・求職者に対する紹介率

2 地域の雇用課題等に応じてハローワークごとに選択する評価指標(所重点指標・所重点項目)

(1)所重点指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する評価指標

- 生活保護受給者等の就職件数
- 障害者の就職件数
- 学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数
- ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついたフリーター等の件数
- 公的職業訓練修了3ヶ月後の就職件数
- マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率
- 正社員求人数
- 正社員就職件数
- 人手不足分野の就職件数
- 生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
- その他、安定所と労働局が調整し設定するマッチング業務指標

(2)所重点項目

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組に関する評価指標

- 職員による事業所訪問の実施
- 職員による計画的なキャリアコンサルティング研修の受講
- 求人・求職者担当制の実施
- 業務改善を図った取組の共有及び実施
- 他所と連携した広域労働移動の取組
- 地方公共団体との連携の推進
- 各種業務研修の実施

令和2年度

総合評価の決定(令和元年度内容分)に係る
就職支援業務報告



福島労働局職業安定部

令和元年度ハローワークのマッチング機能に関する業務実績

【マッチング機能に関する中核的な指標】(主要指標)

()は年度目標値

	労働局計	福島	いわき	会津若松	郡山	白河	須賀川	相双	二本松
就職件数 (常用)	29,428件 (29,876)	5,650件 (5,560)	5,670件 (5,750)	4,661件 (4,752)	5,272件 (5,398)	2,019件 (2,135)	2,062件 (2,100)	2,568件 (2,581)	1,526件 (1,600)
充足件数 (常用)	28,451件 (29,122)	5,647件 (5,500)	5,405件 (5,360)	4,398件 (4,431)	5,366件 (5,485)	1,890件 (2,086)	1,819件 (1,932)	2,518件 (2,823)	1,408件 (1,505)
雇用保険受給者の早期再就職件数	8,074件 (7,650)	1,475件 (1,409)	1,574件 (1,548)	1,139件 (1,062)	1,763件 (1,483)	506件 (576)	585件 (581)	588件 (489)	444件 (502)
総合評価		良好な成果	良好な成果	良好な成果	良好な成果	標準的な成果	良好な成果	良好な成果	標準的な成果

※就職件数 ハローワークの紹介により常用就職した件数

充足件数 ハローワークの常用求人(受理地ベース)の充足件数

雇用保険受給者の早期再就職件数 雇用保険基本手当の所定給付日数を3分の2以上残して就職した件数

ハローワーク福島 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、主要指標（就職件数、充足数、雇用保険受給者の早期再就職件数）の目標達成を重視する中で、マッチングを意識した取り組みを進め、求職者担当制・求人担当者制、求人充足会議の開催、人材不足分野の企業説明会及びミニ面接会等を実施した。

中でも令和2年1月にスタートした「ハローワークシステムの刷新」において、円滑な移行を図るため、①ハローワークインターネットサービスのリニューアル、②求人及び求職者の「マイページ」の開設、③求人情報の充実等、ハローワークのサービスの充実について早期に周知等を行い、出来る限り利用者が戸惑わないよう取り組んだ。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、各種研修（ハローワークのマッチング機能の総合評価に係る研修、職業紹介に係る助成金関係研修、雇用保険給付制度に係る研修、労働基準行政（労働基準監督官）による労働関係法研修）を実施した。また、労働局で実施されるキャリアコンサルティング研修への積極的な送り出しを行った。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・令和元年7月から、庁舎内において週1回程度を目標に、求人事業所が直接求職者（主に雇用保険受給者）に対して、1日1社の会社説明会（「日日の会社PRコーナー」）を開催し、就職件数・充足数増加への取組みを行った。
- ・「ハローワークシステム刷新」に当たり、来所される皆さまに対し、ハローワーク内に設置されたパソコンの操作方法が、タッチパネル式からマウス・キーボード式に変わる（操作環境の変更）ことを事前に周知したことや、求人申込みの多い事業主の皆さまに対し、「求人者マイページ」を介した求人申込み等について、事前の周知に取り組む、円滑な移行を図った。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・求職者が減少傾向にある中で、求職活動や自己理解・仕事理解に関する助言、履歴書・職務経歴書の作成支援など、求職者に対する個別支援の強化等により、相談窓口利用者の増加に向けた方策を講じ、職業相談件数、職業紹介件数を確保するよう取り組むことが重要となっている。
- ・求職者に対する個別支援の強化を図るためには、職業相談技法の習得により、職業相談に関する専門性の向上に取り組むことが一層重要となっている。
- ・令和2年1月にスタートした「ハローワークシステムの刷新」により、求人者に対し、早期の「求人者マイページ」の開設を周知した

一方、「求人者マイページ」を介した求人申込みに当たり、事業所が来所する機会が減少することとなる。電話等により求人情報の充実を図るだけでなく、職員等の事業所訪問により求人情報以上の事業所情報を収集することが、来所する求職者に対して、安定所ならではの情報提供につながる。

- ・ハローワークインターネットサービスの利用における「求職者及び求人者マイページ」の開設は、これまで以上の利用者本位のサービス提供が可能となる環境を整備するものである。今後予定されている「オンライン自主応募」、「求職情報の提供機能の充実」（求人者から求職者へのマイページを利用したリクエスト機能の追加）を踏まえ、求人者及び求職者への利用勧奨を継続する。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・ハローワークと地方自治体がさらに連携を強化することにより、若者の就職支援及び地元定着の支援、保育・介護従事者等の人手不足業種・職種への重点的マッチングの実施、移住・定住促進、「働き方改革」・「ワークライフバランス」の実現など一体となって取り組むことで、地域のニーズに即した雇用対策をより一層推進することができる。（令和2年3月26日 福島市と福島労働局との雇用対策協定締結）

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護 受給者等 就職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブ サポーター 正社員 就職件数	フリーター 等の正規 雇用就職 件数	マザーズ ハローワーク 事業就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	5,650	5,647	1,475	45.5%	52.6%	310	326	783	1,090	94.6%	13,799	2,517
目標	5,560	5,500	1,409	46.9%	53.3%	219	267	740	860	92.7%	15,832	2,648
目標達成率	101%	102%	104%	97%	98%	141%	122%	105%	126%	102%	87%	95%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワークいわき 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

・各指標に対する取組

当所では、就職件数・充足件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、求職者担当者制の取組、マッチングによる求人情報の提供、プラス2サービス（応募する求人がなかった場合でも新たな求人の提案を行う等）の徹底、求人充足会議や未充足求人フォローアップ会で選定した求人に対する早期充足に向けた求人担当者制によるマッチングからフォローアップまでの支援の充実を図りました。

また、人手不足解消のため、令和元年度において、新たに「人材確保対策コーナー」を設置、人手不足分野（福祉、警備、運輸、建設）を中心としたミニ面接会の開催や自治体、業界団体等との共催による「タイアップ型就職面接会」を2回開催、うち1回は、今年度新たに運輸業界と連携した開催となりました。

この他、正社員求人の確保を図るため、ハローワーク、いわき市、福島県いわき地方振興局、福島県教育庁いわき教育事務所、いわき労働基準監督署の5機関による正社員等拡大要請を実施しました。

さらに、求職者が応募する仕事への理解を深められるよう事業所画像情報の収集と事業所情報コーナーへの画像情報（A4の拡大版）の掲示を積極的に推進しました。事業所情報コーナーについては、求人者・求職者ともに好評を得ております。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

・庁舎内の一部レイアウト変更に伴い、求人者・求職者からも好評の事業所情報コーナーについて、より多くの画像情報を、ゆったりと閲覧できるように情報コーナーの拡充を図りました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

・人材確保対策として、今年度新たに設置した「人材確保対策コーナー」において、イベント開催（ミニ面接会・就職面接会等）のより充実強化を図っていきます。

（4）その他業務運営についての分析等

・当所管内では、令和元年10月の台風19号及びその後の大雨によって多数の事業所で浸水等被害を受け、その被害からの復旧途上にあ

った年明け早々においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、さらに多くの業種・事業所に影響が及んだこともあり、正社員求人の受理件数、就職件数にも大きく影響しております。今後は、この状況を踏まえ、的確な求人開拓を重点とするとともに、いわき市等関係機関とも連携した人材確保対策を図っていきます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員就 職件数	ハローワークの 職業紹介に より正社員 に結びつい たフリーター等 の件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制 による就職支 援を受けた重 点支援対象 者の就職率	正社員求 人数	正社員就職 件数	生涯現役支 援窓口での 65歳以上の 就職件数
実績	5,670	5,405	1,574	40.0%	54.4%	149	398	1,071	93.8%	18,554	3,102	65
目標	5,750	5,360	1,548	41.9%	54.6%	139	370	665	92.7%	19,360	3,188	83
目標達成率	98%	100%	101%	95%	99%	107%	107%	161%	101%	95%	97%	78%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク会津若松 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

全ての項目の目標達成のため前年度の取り組みの検証を行った。特に、基本業務である求人票および求職票の完全記載と記載内容の充実を図り、ピックアップ求人情報作成、グレードアップ求人掲示、併せて求人票とともに事業所紹介画像の掲示を行った。また、人材不足分野の業種対策として、ミニ面接会及びマッチング推進事業として「お仕事1UP（企業理解）説明会」を定期的実施した。

今回、特に求職者担当者制を中心に個別支援によるマッチングに努めた。さらに、求人充足会議において、求人内容の条件緩和や記載について詳細に検討し、その結果を事業所訪問時に説明・助言することでわかりやすい求人票記載や条件緩和に努め、条件緩和となった求人及び良質求人を翌日職業紹介部門へ情報提供し積極的にマッチングに努めた。その結果、ミニ面接会及び「お仕事1UP（企業理解）説明会」並びに事業所訪問についての取組は、事業所から理解していただき良い評価を受けることができた。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

PDC Aに関する目標値の進捗状況を毎月幹部職員会議で検証し、業務改善や取組み強化について検討を実施した。

また、定期的に業務日報による就職数・充足数・進捗状況を全職員へ回覧し、それぞれの数値状況を把握しながら全職員が共通の認識のもと業務を進めることができた。さらに、マッチング推進事業として「お仕事1UP説明会」を実施するに当たり、中長期的な職員の育成を図る観点から、運営全般を若手職員により行うこととし、「現場の力」（好事例集）への採用となった。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

庁舎が古く狭隘なため、ハード面の改善が困難な状況の中、求職者に対する事業所情報提供や様々なイベント情報提供について、少しでも来所者の目につくよう工夫しながら掲示し情報提供するなどソフトの面で改善を図った。また、利用者に満足していただけるよう接遇の向上についても、必要に応じ研修を実施し職員、相談員に徹底させた。さらに、「フリーワードを活用して高年齢者の就職支援」として、所独自識別コードを活用し高年齢求職者支援及び求人情報の提供を積極的に実施している。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新型コロナウイルス感染拡大に伴う、事業所の事業活動の先行き不透明な状況の中、基本業務である求職者に対しての詳細な事業所情報の提供、求人者に対する事業所訪問等による緩和指導は、効果的なマッチングに不可欠な取組みであるため継続的に実施していくこととしている。また、新型コロナウイルス感染防止に配慮し、ミニ面接会及び「お仕事1UP（企業理解）説明会」を効果的に実施することとしている。

(4) その他業務運営についての分析等

当地域の特性から、労働力を他地域から確保にすることが通勤等の問題で困難な状況にあり、さらに新規求職者の約半数が45歳以上であることから求人者と求職者の効果的なマッチングには苦慮している状況である。そのような中で、詳細な事業所情報の提供や地域労働市場の特性を説明した中での求人条件の緩和を積極的かつ恒常的に行い、良質求人の確保に努め、求職者担当者制及びミニ面接会並びに「お仕事1UP（企業理解）説明会」を活用し能動的なマッチングに努め就職数、充足数の増加に努めていく。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

①マッチング推進事業として、求職者が気軽に参加できる職業・業界理解に重きを置いた「お仕事1UP（企業理解）説明会」を実施。運営全般を若手職員に任せ、資質の向上を図るなど工夫している。
 ②福井県武生所「フリーワードを活用した高年齢者の就職支援」と同等内容の取組を水平展開し、専門援助部門において「高年齢求職者求人確保実施要領」の策定を行い、「所独自識別コードを活用しての高年齢求職者支援・求人情報の提供」を積極的に実施している。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者対 する紹介率	生活保護受給者 等就職件数	障害者 就職件数	マザーズ重点支 援就職率	正社員求人数	正社員就職件数
実績	4,661	4,398	1,139	45.5%	58.9%	174	230	100%	9,211	2,063
目標	4,752	4,431	1,062	47.7%	59.6%	139	227	92.7%	9,584	2,056
目標達成率	98%	99%	107%	95%	98%	125%	101%	107%	96%	100%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク郡山 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

管内事業所における人材確保の推進を図るために、就職件数及び求人充足数の目標達成を重点に据え、取組を実施した。そのために、求職者ニーズの的確な把握、相談窓口担当者による事業所訪問など事業所情報の共有、それらを活用した能動的マッチング（提案型紹介）の促進に取り組むとともに、求職者に対する情報提供を充実させるため、8種類の求人情報誌を作成・配付した。

また、郡山市と締結した雇用対策協定による各種連携事業を実施して、若年者や子育て中の女性、並びに就職困難者（障害者・高齢者・生活保護受給者等）の就職促進を図るなど管内労働力の確保に取り組んだ。

東日本台風による被害に対する支援について、管内自治体等と連携して対応を行った。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

求職者が減少している中で、就職の可能性を高めるための支援を必要とする利用者の割合が増加してきていることから、職員に対する「キャリアコンサルティング」等の研修を通して、就職支援に関するスキルアップ向上に継続的に取り組んできた。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

ハローワークからの情報発信に関して、庁舎内の掲示についての共通ルールを定め、利用者目線からの検証を行って、都度改善を図りながら、わかりやすい表示や「事業所情報コーナー」等掲示内容の充実に取り組んできた。

また、求人の充足促進のために発刊した「業種別求人情報誌PLUS+1」（人手不足業種に特化した求人情報誌）の周知先を拡大し、新たに管内の東邦銀行23支店に配付して、広範な情報提供及び新規求職者の掘り起こしを図った。

さらに、求職者の利便性の向上を優先的な取組事項として、講習会・セミナー等の開催方式の見直し及び外部会場の利用による駐車場の混雑緩和、求職者の意向を的確に捉えた効果的・効率的な職業相談による待ち時間解消の改善を行った。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求職者の減少傾向が続く中、潜在的な利用者の開拓に取り組むにつつ、求職登録から期間が経過するほど紹介率は低下する傾向にあることから、新規求職者を早期に窓口に誘導し、職業相談技法の向上を図りながら的確なマッチングに取り組んでいきたい。

一方、新規求人においては、未充足のまま更新される求人が高い割合を占めていることから、求職者ニーズを捉えた充足可能性の高い新たな求人の開拓や、正社員求人への転換に取り組んでいく必要がある。

また、ハローワークシステムの刷新に伴う新しい機能を活用した新たなサービスの展開を通じて利用者サービスの向上を図っていく。

(4) その他業務運営についての分析等

令和元年度の新規求人数は、前年度との比較で▲5.4%の減少、新規求職者数は前年度との比較で▲3.8%の減少となった。現在、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況下において、さらに減少傾向で推移している状況を踏まえ、求人の確保に努めるとともに、求職者の状況に応じた担当者制による個別支援の強化、未充足求人にかかる募集条件の緩和や求人票にプラスされた事業所情報の収集・提供のフォローアップを実施することにより、充足（就職）支援を図っていくことが重要であると考えている。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給 者早期再就職 件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受給 者等の週就職 件数	障害者の就職 件数	正規雇用に結 びついたフリ ーター等の件 数	公的訓練の修 了3ヶ月後の 就職件数	マザーズハロ ーワーク事業 における担当 者制による就 職支援を受け た重点支援対 象者の就職率	正社員 求人数	正社員 就職数
実績	5,272	5,366	1,763	39.9%	51.6%	220	268	861	307	93.8%	20,414	2,744
目標	5,398	5,485	1,483	42.4%	54.1%	219	265	745	260	92.7%	22,376	3,059
目標達成率	97%	97%	118%	94%	95%	100%	101%	115%	116%	101%	91%	89%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク白河 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

主要指標のなかでも、就職件数・充足件数の目標達成を重点にすすめ、マッチングの強化として定例の求人充足会議（毎週金曜日実施）に加え、毎日「緊急求人充足会議」を実施し、選定した求人の充足に努めました。

人手不足解消のため、人手不足分野（介護、保育、建設、警備等）を対象とした「ミニ面接会」を開催しました。

また、双方向性の求職者担当制により求職申し込み後の早い段階から早期再就職意欲の喚起、求人情報の積極的提供、応募書類の作成支援等によりマッチングからフォローアップまで一貫した就職支援を行いました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

中長期的な職員の資質向上を図る観点から、各種研修（ハローワークのマッチング機能の総合評価に係る研修、労働法令研修（講師：労働基準監督署職員）、社会保険・年金制度に係る研修（講師：年金事務所職員）、ジョブ・カード制度研修等）を実施しました。

また、労働局で開催したキャリアコンサルティング研修への積極的な送り出しを行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

月間有効求人倍率が1倍を超える状況が継続する中、潜在求職者の掘り起こし及び求人充足を主な目的に週刊求人情報誌を管内の関係機関に配信のうえ配架・配布を依頼し、求職者のハローワークへの相談・来所勧奨を行いました。

また、白河市に対してはハローワーク利用案内チラシを本庁区域行政班（3, 750班）に年間2回、町内会の回覧による周知を実施しました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

年度後半にあっては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響で新規求人の激減、新規求職者の増加により管内雇用失業情勢が一気に悪化してきている。ハローワークのサービスは基本的には対面により求職者・求人者双方から詳細な聞き取りによりマッチングを進めるべきではあるが、接触の制限等感染防止の観点から非接触型の職業相談や通信手段による求人受理、刷新されたハローワークシステムのマイページを有効活用し、ハローワークのあっせん機能の充実を図る必要があります。

また、一定の業界・職種においては人手不足状態が継続していることから、求職者に対する希望職種転換の働きかけや、職業能力向上のための公的職業訓練の積極的活用などにより人手不足分野求人の充足を促進します。

(4) その他業務運営についての分析等

若年労働力の確保については、地元自治体及び中小企業においては今後の事業運営を見据えたなかで重要課題となっていることから、地元企業のもつ魅力の発信を地元自治体と積極的に連携しながら推進していきます。

人手不足分野の求人への応募者が少ない状況下、人材確保対策として、「ミニ面接会」や「セミナー&相談会」を開催したものの、一定数の求職者は参加していますが、最終的に就職に結びつく件数が少ない状況となっています。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

フリーター等支援事業対象者に対する就職支援においては、積極的かつ的確なマッチングによる求人情報の提供や、支援メニューとしての履歴書・職務経歴書の作成支援及び面接指導を行うことにより正社員就職希望者のみならず、フリーターを選択する者に正社員就職の働きかけを行いながら正規雇用への就職支援を実施した。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	正規雇用に 結びついた フリーター等 の件数	正社員求人 数	正社員就職 件数
実績	2,019	1,890	506			43.6%	56.0%	48	448	4,519	971
目標	2,135	2,086	576			43.9%	58.5%	47	240	4,887	1,080
目標達成率	95%	91%	88%			99%	95%	102%	186%	92%	89%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク須賀川 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、求人が減少傾向にあるものの企業の人手不足が続く中、就職件数（常用）及び雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成が重要と考え、求職者に対する計画的な情報提供と担当者制による支援を行いました。

特に雇用保険受給者については、担当者制による支援に加え認定日の職業相談を全員に実施し、再就職手当といった早期再就職メリットの説明、求人情報の提供など就職意欲の喚起を図り、支援に努めました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

管内事業所の業務や作業内容の理解を図ることで求職者へ提供する求人情報の質を高めるため、職員による複数回の事業所訪問を実施しました。また、職業紹介に関連した職員向け研修を定期的に行い、紹介スキルの底上げを図りました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

ハローワークシステムの刷新に伴いこれまで蓄積していた事業所画像情報の新システムへの移行可否について、事業所に対し個別に確認、必要な画像情報の収集を継続し求人への応募促進を図りました。

また、人手不足分野への取組みとして求人情報の提供、介護の職場見学会の実施、11月の介護就職デイトミニ介護事業所説明会を開催するとともに、人手が不足している建設・運輸・警備分野の求人情報誌を毎月発行しました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新型コロナウイルス感染症に関連した事業所の休業に伴い助成金・雇用保険関係の業務増大が見込まれることから、ハローワーク内の業務応援態勢を整備し迅速な対応を図ります。また、会社や自宅から求人・求職登録ができるハローワークインターネットサービス「マイページ機能」の周知・活用を促進し、ハローワークへの来所を減らすことで感染症の拡大防止を図ります。

（4）その他業務運営についての分析等

当所での積極的マッチングによる求人紹介比率は局平均を下回りましたが、就職に結びついた数値である紹介成功率は局平均を上回る状況となりました。これは、求職者の適性や希望条件を踏まえた求人の提案ができていたためと考えられます。一方で、新型コロナウイルス感染症対策として、相談時間を短時間としつつも満足いただけるような効率的な紹介が求められることから、キャリアコンサルティングに基づくスキル・技法の研修習得や（求人充足会議で選定した）求人への応募勧奨など、変化する雇用環境への対応を図ることとします。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

職業紹介業務の目標に関する共通認識を持つため、年度初めに職員及び相談員に対して、前年度の取り組み結果と新年度の目標値及び目標達成に向けての取り組みについて研修を行った他、毎月の個々の業務の進捗状況を管理し、定期的に個別ヒアリングと状況に応じた紹介スキル向上のための研修を行いました。

また、業務の進捗状況を全職員及び相談員が逐次共有する取り組みで、職員等個々のとるべき行動を後押しすることができたものと考えています。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受給者 等の就職件数	障害者の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	
実績	2,062	1,819	585			39.7%	56.9%	76	89	5,230	1,086	
目標	2,100	1,932	581			38.8%	58.2%	47	87	5,978	1,174	
目標達成率	98%	94%	100%			102%	97%	161%	102%	87%	92%	

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク相双 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

主要指標の目標達成に向けて、能動的マッチングによる求人情報提供を推進し、双方向性の求職者担当者制の実施、雇用保険受給者の認定日における全員職業相談を行った。

特に人手不足対策を最重点課題と考え、ミニ面接会（「ミニ説明会」に名称変更）の定期的開催に取り組んだ。主として人材不足業種を選定し、本所・出張所合計で年間延べ88回開催した。また、南相馬市主催の看護・介護職の面接会への共催参画により、人材不足対策強化に取り組んだ。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

地域住民に対して広くハローワーク利用を周知するため、管内自治体と連携し、町内会回覧板に求人情報を添付し回覧を行った。

また、ミニ面接会については名称をミニ説明会に変更して参加促進を図り、子供と同席可能とすることや、希望者は職場見学も可能とする等の改善を図った。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

受理された求人について、紹介や充足が十分ではない状況もあるため、きめ細やかな相談支援を行うとともに、充足会議で選定した求人に対する能動的マッチングの取り組みや、ミニ説明会の継続実施、応募前職場見学を活用したマッチング強化の取り組みを実施していく。

（4）その他業務運営についての分析等

震災後の避難者帰還が進まない中、慢性的な人手不足の状態が継続し、求職者ニーズも多様化している。求職者ニーズを求人者に伝え、求人条件の設定や求人内容の見直しを働きかける等の適切な求人支援を行っていく必要がある。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の 就職件数	ハローワークの 職業紹介により 正社員に結びつ いたフリーターの 件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	
実績	2,568	2,518	588	—	—	39.8%	59.0%	126	368	9,383	1,273	
目標	2,581	2,823	489	—	—	43.3%	59.9%	139	217	9,299	1,282	
目標達成率	99%	89%	120%	—	—	91%	98%	90%	169%	100%	99%	

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク二本松 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

人材不足対策のため「企業ミニ面接会」を12回開催（13回計画したが新型コロナウイルスの影響により1回中止。平成31年度は13回開催）し、平均利用者が8.4人（平成30年度は10.2人）、うち就職者が29人（平成30年度は31人）となった。

雇用保険受給者の早期再就職を図るため、求職相談申込時や初回認定日の職業相談の充実を図り、各種支援メニューの詳細な説明や、給付制限中のものに対しては認定日当日に来所を勧奨し職業相談を実施した。

双方向性の求職者担当者制を実施し、求職者のニーズをとらえ的確紹介に努め就職へ結びつけた。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

高齢者の就職促進のため「高齢者求人情報誌」を毎月1回作成し、窓口等で配付し高齢求職者へ対し積極的に求人情報提供を行った。

正社員就職促進のため「正社員求人情報誌」を毎月2回作成し、窓口等で求職者への情報提供を積極的に行った。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

「企業ミニ面接会」で、集団説明だけを聞いて退席する求職者が多いため、面接までは希望しないが個別相談を希望したいものに対し個別相談も可能であるとし参加者を募集して行きたい。

潜在的な求職者に対するハローワークへの来所勧奨の取組が重要であるため、月2回作成している求人情報誌の内容を充実させ、求職者へ周知を行っていく。

（4）その他業務運営についての分析等

正社員求人数の確保では、4,750件に対し実績4,128件で達成率86.9%となった。求人開拓の重点を正社員求人の確保とし、求職者が正社員での就職を希望している状況を説明し、正社員求人の確保を図っていく。

窓口職員の専門性向上による職業紹介の技法を高めることが必要と思われるため、キャリアコンサルティング研修等へ継続的に参加させる等の取組を行っていく。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護 受給者等の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	1,526	1,408	444	45.6%	59.9%	56	4,128	771
目標	1,600	1,505	502	46.4%	59.1%	47	4,750	756
目標達成率	95%	93%	88%	98%	101%	119%	86%	101%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率